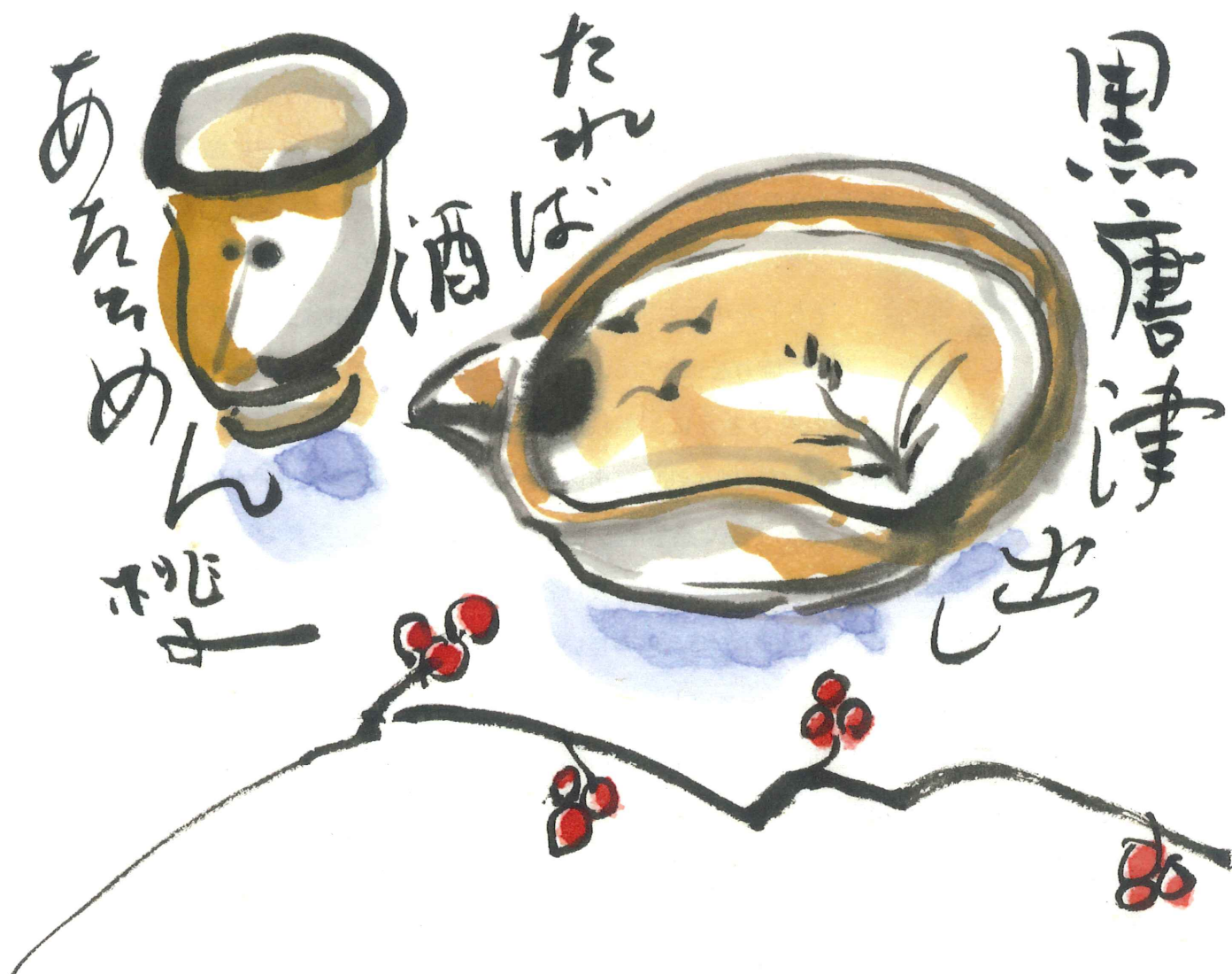


東京局連会報

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会

第10号

令和7年
(2025年)1月



目次

東京局連近藤忠夫会長挨拶……………	2	<神奈川県>黒岩祐治県知事祝辞……………	8
東京国税局星屋和彦局長祝辞……………	3	神奈川県連の活動……………	9
<東京都>小池百合子都知事祝辞……………	4	<山梨県>長崎幸太郎県知事祝辞……………	10
東総連の活動……………	5	山梨県総連の活動……………	11
<千葉県>熊谷俊人県知事祝辞……………	6	東京局連の取り組み……………	12
千葉県総連の活動……………	7	東京局連副会長挨拶……………	14

会長挨拶

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 会長 ■ 近 藤 忠 夫



令和7年の新年を迎え、謹んで新春のお祝いを申し上げます。

会員の皆さまには、日頃から納税貯蓄組合の活動に多大なるご支援とご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

振り返れば、この数年間は、新型コロナに始まり、ロシアのウクライナ侵攻、イスラエル・パレスチナ間の紛争など、まさに激動とも言うべき大きな変化の年が続きました。皆さまにとりましても、様々に、ご苦労の多い歳月であったことと拝察いたします。

そうした中でも、東京国税局管内納税貯蓄組合連合会では多くの支援者のご協力を頂きながら、定時総会や作文審査会などの事業を着実に実施することが出来ました。これもひとえに、納税貯蓄組合の活動を支えて頂いております地区（署）連の役員や会員の皆様、並びに国・都県・市区町村などの行政機関や連携する納税協力団体の皆さま方のご支援の賜物と、改めて深く感謝申し上げる次第です。

令和3年、東京国税局や同局管内の金融機関、及び各業界団体などと共に始めたキャッシュレス納付の普及に向けた取り組みは4年目を迎え息の長い事業となっています。今後も、様々な機会を捉えて、クレジットカードやインターネット・バンキングなどの多様な手段によるキャッシュレス納付の普及・啓発に取り組み、デジタル社会の実現に貢献してまいります。

今後は、こうした取り組みに加え、デジタル化社会の深化を念頭に、インターネットなどでの情報発信に注力すると共に、行政サービスのプッシュ型への変革も見据えて、様々な申請手続きのデジタル化にも積極的に取り組むなど、これまで以上に効率的な業務運営を推進してまいります。

世界情勢の先行きが依然不透明な中で、私たちは新しい年を迎えることになりました。今年の干支は、乙巳（きのと・み）です。古より乙は「植物が成長し広がっていく様子」を、また、巳は「再生する力や無限の可能性」を示すと伝えられています。こうしたことから、乙巳は「これまでの努力や準備が実を結び始める年」と言われているようです。私たちも、十干十二支の故事来歴にあやかり、いかなる時にありましても、希望を持って新しい年に踏み出したいと思います。

今年一年の当会の発展と会員の皆様、並びに当会を支えて下さる多くの皆さまのご健勝とご繁栄を祈念し、年頭のご挨拶とさせていただきます。

東京国税局長祝辞

東京国税局長 ■ 星 屋 和 彦



新年あけましておめでとうございます。

令和7年の年頭に当たり謹んでお祝いを申し上げます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の皆様には、平素から税務行政に対しまして、格別の御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴連合会におかれましては、令和3年5月の「キャッシュレス納付共同推進宣言」を受け、各会で役員の皆様が率先して利用するなど、キャッシュレス納付の普及に向けてより一層力を入れて取り組んでいただいているところです。

また、全国納税貯蓄組合連合会と国税庁との共催事業である「中学生の『税についての作文』」事業は、58回目となった昨年、東京国税局管内の中学校1,308校から10万8千編もの多数の応募がありました。これもひとえに、納税貯蓄組合の皆様方が、次代を担う中学生に向けての租税教育の重要性を認識され、地道に募集活動を継続されてきたことの成果であると考えております。これまでの皆様の御尽力に対しまして、改めまして深く感謝申し上げます。

当局といたしましても、引き続き、皆様との連携・協調を密にしていくこととしておりますので、今後とも税務行政に対しまして、より一層の御理解と御協力のほどよろしくお願い申し上げます。

さて、私たち国税組織に課せられた使命は、国の活動を支える歳入を確保するために、「納税者の自発的な納税義務の履行を適正かつ円滑に実現する」ことです。これを国民の皆様からの理解と信頼の下、果たしていかなければなりません。

そのためには、納税者利便の向上に向けた様々な取組を進める一方で、消費税不正還付請求事案などをはじめとした悪質な納税者には厳正な態度で臨むということが重要であります。

年も明けて、間もなく確定申告の時期を迎えますが、確定申告事務を円滑に行うことは、税務行政に対する信頼と評価を得る上で極めて重要であると考えております。

「確定申告書等作成コーナー」ではスマホ専用画面を提供しており、さらに令和7年1月からは、所得税の全てでスマホでも操作しやすい画面を提供するほか、贈与税もスマホで申告できるようになるなど、スマホ申告の利便性がさらに向上しています。加えて、事業者（給与の支払者）の方が、事前に給与所得の源泉徴収票をe-Tax等でご提出していただいた場合、マイナポータル連携により給与所得の源泉徴収票の情報についても自動入力の対象となるなど、e-Taxの利便性がより一層向上していますので、是非、御自宅等からe-Taxを御利用ください。

そして、納付の際は、振替納税やインターネットバンキングをはじめとした、キャッシュレス納付を御利用いただきますようお願いいたします。

最後になりますが、新しい年が皆様方にとってますます御多幸でありますよう心から祈念して、新年の挨拶とさせていただきます。

東京都知事祝辞

東京都知事 ■ 小池百合子



明けましておめでとうございます。令和7年の年頭に当たり謹んでお祝いを申し上げます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の皆様には、近藤会長のもと、キャッシュレス納税の普及・拡大に向けたPR活動をはじめ、税の知識や納税思想の普及・啓発、「税についての作文」の募集活動を通じた租税教育の推進など、税務行政の進展に格別のご理解とご協力を賜っています。厚く御礼申し上げます。

近年の世界の動きは、私たちの経験や常識を遥かに超えてきました。気候危機などで深刻化・激甚化する自然災害、少子高齢化と人口減少、また、生成AIなど最先端技術は加速度的に進化しています。これまでのような感覚で、物事を考え、進めていては、時代に取り残されます。激動の中で、イノベーションを巻き起こし、ゲームチェンジを成し遂げていかなければなりません。

その原動力である都民の皆様の生き生きとした活動は、安全・安心という確かな土台の上でこそ展開されます。あらゆる危険と災害に備え、都民の命と暮らしを守り、経済を発展させ、未来を守り、切り拓く。この「首都防衛」は、都政に課された重要な使命でございます。

地震や風水害などの脅威に備えた都市の強靱化を進め、東京が世界に誇る治安もさらに高めていきます。エネルギーの安定確保と脱炭素化も推進します。物価高騰に対応しながら、活力あふれる都市に飛躍するための国際競争力の強化を図ります。そして、未来を担う子供・若者をみんなで応援する、チルドレンファースト社会を実現していきます。

デジタル技術も駆使します。都民の皆様が便利になったと「実感できる」クオリティ・オブ・サービスの向上を図るため、防災、医療、教育などあらゆる政策分野にDXを掛け合わせる「政策DX」に挑みます。組織や分野を超えて知恵を出し合い、AIをはじめ先端技術を最大限に活用し、デジタル社会への歩みを一段と加速させていきます。

こうした多岐に渡る施策を着実に推し進めていくためには、強靱な財政基盤が不可欠です。その根幹をなすのは、納税者の皆様からの都税収入でございます。東京都は、これからも適正かつ公平な税務行政の実現に不断に取り組み、納税者の皆様のさらなる信頼と協力が得られるよう努めてまいります。今年も、皆様の一層のお力添えを、お願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々のご発展と、組合員の皆様のご健勝、ご活躍を心より祈念し、この一年が皆様にとって希望あふれる年となることを願って、新年のご挨拶といたします。

東京納税貯蓄組合総連合会の活動

東京都とのキャッシュレス納付共同推進宣言式

(令和5年11月28日(火)：東京都庁第二本庁舎 二庁ホール)

宣言式には、地区連から81名が参加し、東京都からも児玉主税局長をはじめ幹部の皆様にご出席いただきました。また、ご来賓として都議会から菅野弘一議員、清水やすこ議員、東京国税局から菅田徴収部次長にもご出席いただきました。

「キャッシュレス納付」共同推進宣言

東京都主税局長 児玉英一郎 様

社会全体のデジタル化は、国民・企業の利便性を向上させ、行政の効率化に資するものであり、その推進は、官民間問わず、私たちにとって共通の課題です。

こうした中、東京納税貯蓄組合総連合会においては、納付のデジタル化のメリットをより多くの方々が実感できるよう、私たちが一層連携し、協力して取り組んでいくことが重要であると認識しています。

私たちは、こうした共通認識のもと、「いつでも・どこでも・便利な」キャッシュレス納付の一層の普及に向けて、東京都とともに、共同して推進していくことを宣言します。

東京納税貯蓄組合総連合会 会長 近藤忠夫

第68回東総連定期総会(令和6年6月17日(月)：上野精養軒)



東総連近藤会長から今後の事業計画について、1 取り組みの強化、2 キャッシュレス納税の推進、3 足腰の強化の三点を柱に、一層の努力を傾注していくとの決意が表明されました。

総会後には懇親会を開催し、小池東京都知事をはじめ来賓の方からご祝辞をいただき、会員同士の交流も図られ、和やかな時間となりました。

青年部・女性部合同研修会、納涼ビアガーデン会(令和6年8月22日(休)：上野精養軒)

研修会では、山梨県ふるさと納税推進委員長の内田孝様をお招きし「甲州財閥の発展の経緯―渋沢栄一の足跡を辿って―」と題し講演をしていただきました。

第二部の納涼ビアガーデンには、内田講師をはじめ63名の会員が参加し楽しく交流を図ることができました。



千葉県知事祝辞

千葉県知事 ■ 熊谷 俊人



明けましておめでとうございます。令和7年の年頭に当たり、謹んでお祝いを申し上げます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の皆様におかれましては、キャッシュレス納付の利用促進に向けたPR活動、納期内納付と振替納税の推進等による自主納付体制の確立、税の知識や納税思想の普及・啓発、中学生の「税についての作文」の募集事業などを通じ、納税意識の高揚のために多大なる御協力をいただき、厚くお礼申し上げます。

「安全・安心」の確立は、県政の土台となるものです。昨年元日には能登半島地震が発生しました。本県も同じ半島という地理的特性を有することから、孤立集落対策や市町村及びライフライン事業者等との連携強化のほか、デジタル技術を活用した被災者支援を推進するなど、防災県・千葉を確立してまいります。また、治安対策については、市町村や県警などと連携して、安全・安心なまちづくりに向けて取り組んでまいります。飲酒運転の根絶に向けては、「飲酒運転は絶対しない、させない、許さない」社会環境をつくるための各種対策を推進します。

県内の景気回復を確かなものとし、賃上げと消費拡大、企業の成長などの好循環を実現するため、中小企業に対してDX導入支援や専門家派遣等による伴走支援、雇用のミスマッチ解消等による人材の確保・育成を進めてまいります。また、観光面では、地域資源の発掘・磨き上げによる観光地域づくりやインバウンドの推進、デジタル技術を活用した観光振興などに取り組んでまいります。今後、新たな観光施策を展開していくうえで必要となる安定財源として、宿泊税の導入を進めてまいります。

農林水産業については、「稼げる農林水産業」の実現に向け、担い手を支援するとともに、スマート技術を活用した取組を支援することで、生産性の向上や作業の効率化を図ってまいります。

成田空港では、令和10年度末に第3滑走路の新設を含めた更なる機能強化が予定されており、地域と空港の発展が好循環する地域づくりを推進してまいります。県内活性化の重要な基盤となる道路ネットワークの整備についても、引き続き積極的に取り組みます。本県の向上するポテンシャルを生かし、20年、30年先の将来を見据えた新たな産業・地域づくりに向けて戦略的な取組を進めてまいります。

現在、高齢者人口が増加する一方で、現役世代が急減する中にありますが、医療・介護が適切に提供できる体制を確保するため、人材の養成・確保を図るほか、最新の技術を活用して、業務の効率化や安定的なサービス提供体制を確保してまいります。少子化対策については、希望する誰もが結婚、妊娠・出産、子育てができるよう、市町村と連携を図りながら県全体で取り組んでまいります。

デジタル技術の活用は、個人と社会を豊かにする大きな可能性を持っています。今後、令和9年度までに行政手続の全利用件数の95%以上でオンラインによる手続を可能とするなど、県民・事業者が利便性を実感できるよう、県全体のDXを推進していきます。

これら各種施策を着実に進めていくためには、自主財源の確保が必要不可欠となります。今後とも、納税者の皆様の信頼と協力が得られるよう、常に適正かつ公平な税務行政を推進してまいりますので、皆様の一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会、傘下納税貯蓄組合のますますの御発展と組合員の皆様の御健勝を心からお祈り申し上げます。新年のご挨拶といたします。

千葉県納税貯蓄組合総連合会の活動

千葉県納税貯蓄組合総連合会の各署連では、令和6年度は、一日税務署長や街頭キャンペーン、中学生の税についての作文などの事業を行いました。ここでは、その一部を紹介します。

柏納税貯蓄組合連合会

令和6年12月13日(金)柏税務署内に於いて「一日署長体験」を開催しました。中学生の「税についての作文」において署長賞を受賞された2名の生徒さんが、一日署長に就任し、署長室に於いて委嘱状の交付を受けた後、名刺の交換・決裁業務体験・署内視察・受賞作品の朗読「署長訓示」を行いました。

本年度も(株)J:COMさんのご協力によりテレビ報道もされました。



税務署幹部職員、納連「集合写真」



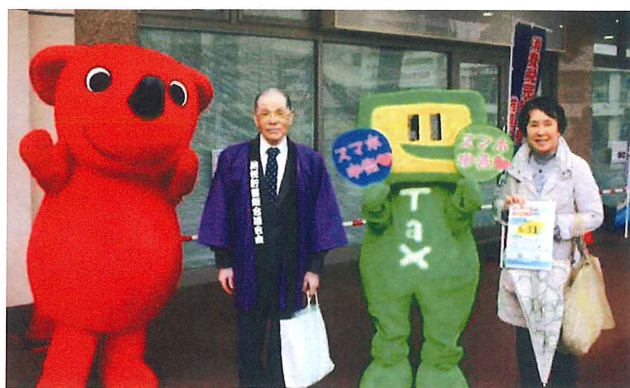
決裁業務体験



朗読前の待機

成田納税貯蓄組合連合会

令和6年4月24日(水)京成臼井駅頭において「納貯の日」街頭キャンペーンを行いました。当日は、佐倉県税、佐倉市にも協力をいただき啓発グッズの配布、期限内納付と納税貯蓄組合活動をPRしました。



千葉東納税貯蓄組合連合会

中学生の「税についての作文」募集事業を実施し、令和6年度は千葉東税務署管内の中学校23校より2,205編の応募をいただきました。優秀作品は管内の各施設で展示し、多くの市民に読んでいただいています。千葉市役所では、1階ロビーに市長賞(千葉東・千葉南・千葉西署連)を中心に展示しました。

神奈川県知事祝辞

神奈川県知事 ■ 黒 岩 祐 治



あけましておめでとうございます。令和7年の年頭に当たりまして謹んでお祝いを申し上げます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の皆さまにおかれましては、日ごろから、キャッシュレス納付の普及促進に向けた活動をはじめ、本県の税務行政の推進に格別なご理解とご協力を賜り、深く感謝いたします。また、中学生の「税についての作文」の募集事業などを通じて、納税意識の向上のために多大なるご尽力をいただき、厚くお礼を申し上げます。

振り返りますと、昨年のはじめは、能登半島地震が発生した日でありました。

正月の穏やかな一日を吹き飛ばす突然の大地震に、私自身、大変驚くとともに、いつ起こるか分からない地震災害の恐ろしさを改めて突きつけられた思いでした。

県は、地震発生直後から「災害対策支援チーム」を設置。その後、警察や消防が次々と現地に赴き、被災者の捜索や救助に当たりました。

現地では、断水や停電、通信障害などライフラインの被災が深刻で、在宅避難や住民が自主的に開設したいいわゆる自主避難所などに避難した被災者も多くいたため、避難者の情報の把握と集約ができない事態が生じていました。

こうした状況の中、現地入りしていた本県のCIO（情報部門の責任者）により、通信手段を確保するための衛星通信システムの投入や、行政、自衛隊、DMAT（災害派遣医療チーム）等が別々に収集管理していた避難所情報の集約、広域での避難者マスターデータの構築などが行われました。

神奈川県で進めていた防災DXの仕組みを現地に持ち込み、現場のニーズに即した支援を即座に実現することができました。

能登半島地震の被災地での経験を基に、私たちは防災DXをさらにブラッシュアップさせました。通信の断絶に備えて衛星通信システムを導入したほか、孤立地域や土砂災害現場等の被害状況を把握する上で有効な赤外線カメラ搭載のドローンの配備等、デジタルを活用した応急活動体制の整備を進めています。

県政課題へのデジタルの活用は、こうした災害分野に止まりません。

例えば、子ども子育て分野。令和5年12月に導入したLINE公式アカウント「かながわ子育てパーソナルサポート」は、デジタルを活用することにより、お住まいの地域やお子さんの年齢に応じた情報支援を可能とした取組で、すでに5万人を超える方にご利用いただいています。また、医療分野においても、オンライン診療の活用や、地域における患者情報の共有が進められています。

私は、4期目の県政運営に当たり「県民目線のデジタル行政でやさしい社会の実現」を掲げました。進歩の著しいデジタルの力を様々な課題の解決に活用し、県民の皆様が抱える「不安」を取り除いていくという考えです。

こうしたデジタルを活用した取組をさらに進め、県民の皆様一人ひとりの「いのち」が輝くやさしい社会の実現を目指し、本年も全力を尽くしてまいります。

そのために取り組む各種施策には、県民の皆様からお預かりした貴重な県税が財源となります。

今後とも、電子申告やキャッシュレス納付の拡大により、納税者の利便性向上を図るとともに、納税者の信頼と協力が得られるよう、適正かつ公平な税務行政を推進してまいりますので、納税貯蓄組合の皆様におかれましても、本県の取組にご理解をいただき、一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会、傘下納税貯蓄組合のますますのご発展を心より祈念いたしまして、年頭のあいさつとさせていただきます。

神奈川県納税貯蓄組合連合会の活動

神奈川県納税貯蓄組合連合会は18署連で組織されております。局連とも連携して以前より、キャッシュレス納付の推進を其々の署連活動の中で推進しております。

主に納貯の日、4月10日前後の春、税の週間での秋にキャンペーンを企画し、他の税務協力団体と連携しながら活動をさせていただいております。例えば川崎南納税貯蓄組合総連合会は、確定申告前の1月下旬に他の税務協力団体と共に、川崎駅前で啓発活動を実施しております。又、私の所属する相模原納税貯蓄組合連合会は、多くの市民が集まる、4月6・7日に相模原市役所前、歩行者天国のさくら通りで他の納税協力団体とキャッシュレス納付キャンペーンを、さらに、11月3日は、J R相模原駅北口の米軍相模原補給廠跡地で開催されるサガミハーフフェスタの会場で、他の納税協力団体とキャッシュレス納付キャンペーンを実施しました。

11月19日に中学生の「税についての作文」表彰式を、神奈川県庁新館5F会議室にて開催し、神奈川県知事賞、神奈川県教育長賞を始め、東京地方税理士会会長賞、神奈川県納税貯蓄組合連合会会長賞の授与をさせていただきました。

最近、県内納税貯蓄組合の会員の多くが高齢となり、他の納税協力団体との連携での活動が多くなっております。



神奈川県庁に於ける、中学生の「税についての作文」表彰式 (2024.11.19)

山梨県知事祝辞

山梨県知事 ■ 長崎 幸太郎



新年明けましておめでとうございます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の皆様におかれましては、益々ご清栄のうちに令和7年の新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。また、平素から近藤会長はじめ会員の皆様におかれましては、納期内納税の推進にご協力を賜りますとともに、租税教育の推進にも多大なご貢献をいただき、心から感謝申し上げます。

さて、県では、様々な外部環境の変動に対しても、可能な限り平常を維持できる社会をつくる「ふるさと強靱化」と、県民全ての可能性に道を拓き、豊かさの元となる価値を創出する「『開の国』づくり」という二つの大きな政策の柱のもと、「県民一人ひとりが豊かさを実感できる山梨」の実現に向けて取り組みを進めているところです。

具体的な施策の一環として、いかなる経済状況にあっても、子どもを安心して産み育てることができるよう、各市町村に対し、子育て世帯を対象とした対策等の拡充に向けた臨時交付金を創設し、独自の支援を行うこととしました。

また、「富士五湖自然首都圏フォーラム」の活動推進のため、昨年11月に米国カリフォルニア州を訪問し、フォーラム傘下のコンソーシアムである「富士五湖グローバル・ビレッジ・コンソーシアム」「富士グリーン水素コミュニティ・コンソーシアム」「WISE GOVERNMENT コンソーシアム」の活動に関連した同州の4つの自治体や団体、企業と連携協定を締結し、今後、各コンソーシアムの更なる強力な推進、連携を図ることとしました。

こうした取り組みを着実に進める上で、財源となる税収の確保は不可欠であり、そのためには、県民の皆様の税に対する理解を深めるとともに、納税しやすい環境を整備することが必要であります。

このため本県では、県税の分野においてもDXを強力に推進していくこととし、納税者の利便性の向上並びに金融機関における事務負担の軽減など、社会全体のコスト縮減につながるeLTAXの積極的な利用を呼び掛けているところです。

しかしながら、eLTAXを利用することで複数の自治体へ一括して納税ができるという利点がある個人住民税の特別徴収においては、未だ電子納税の利用率が低迷している状況にあります。

そこで本県では、県内金融機関・税務署・市町村等との連携による「納付書レス・キャッシュレス納付推進プロジェクト」において、eLTAXによる電子納税を呼びかけております。

また、税務署・県・市町村の職員が直接事業所を訪問し、e-Tax並びにeLTAXの利用開始手続を支援するなど、所得税の源泉徴収や個人住民税の特別徴収における電子納税の推進に向けて、引き続き、きめ細かな支援に取り組んでいるところです。

今後も、納税者の皆様の信頼と期待に応えられるよう、公平・公正な税制運営に努めて参りますので、会員の皆様におかれましては、なお一層のお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

結びに、貴連合会の益々のご発展と、会員の皆様のこの1年のご多幸を心から祈念申し上げまして、新年のご挨拶といたします。

山梨県納税貯蓄組合総連合会の活動

山梨県納税貯蓄組合総連合会では、県下一斉の自動車税納期前納税啓発事業や事業所巡回啓発事業を実施するとともに、署（地区）連毎に特色ある会報を発行するなど、様々な活動を行っています。今回は甲府税務署管内納税貯蓄組合連合会の活動を紹介します。

租税教室

甲府税務署管内納税貯蓄組合では、令和3年4月から令和6年7月末までに甲府署管内の小学校9校15講座の租税教室を行ってまいりました。

児童の皆さんは純粋で素直な子供ばかりで、租税教室が終わった後、「面白かった」、「大人になったらきちんと税金を払いたい」、「学校の机や教科書などを大切に使いたい」、「親や周りの大人たちに感謝したい」など前向きな素晴らしい言葉をもらっています。将来の日本を背負って立つ子供たちに「税金」について知ってもらうことの意義を強く感じ租税教室の活動を続けていく活力になっています。

また、租税教室の講師を増やすため、税務署広報広聴官により講師研修会も実施し令和元年から現在まで納連役員22人が受講しています。今後も、甲府税務署と連携し、この取り組みを継続して実施していきます。



のーちょ駅前キャンペーン

令和6年11月、J R甲府駅南口にて甲府税務署の協力のもと、納税貯蓄組合連合会による街頭キャンペーンを行いました。本年は、キャッシュレス納付やスマホ申告、電子納税証明書など、税務署に行かずにオンライン上での手続きを広く知っていただくことを主題として行いました。

南口をご通行中の方々に、キャッシュレス納付、スマホ申告、消費税期限内納付等のチラシの他、当連合会の会報誌とカイロを配布しました。





東京国税局管内納連の取り組み

1.中学生の税についての作文

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会では、国税局との共催による中学生の「税についての作文」を毎年度の中心的な事業として取り組んでいます。この事業は、昭和42年の開始以来、令和6年度で58回目を数えます。

応募数は、新型コロナの影響で激減した令和2年度から回復傾向にあります。令和2年と比べると今年度の応募校数は1.18倍、応募校数は1.26倍です。いずれも新型コロナ前の水準近くにまで回復しました。

令和6年10月、東京局連において作文の審査を行った結果、東京国税局長賞18編、東京局連会長賞36編、東京局連優秀賞100編、全納連上申作品32編を選出しました。

	年度	東京都	神奈川県	千葉県	山梨県	合計
応募数 (編)	令和2年度	53,864	12,073	17,481	2,658	86,076
	令和3年度	67,135	18,151	24,653	3,215	113,154
	令和4年度	68,042	18,241	26,083	3,594	115,960
	令和5年度	66,288	18,820	24,274	3,402	112,784
	令和6年度	67,162	16,621	21,489	3,505	108,777
	前年度増減数	874	-2199	-2785	103	-4007
	前年度比	1.01	0.88	0.89	1.03	0.96
	令和2年度比	1.25	1.38	1.23	1.32	1.26
参加校数 (校)	令和2年度	605	181	259	67	1,112
	令和3年度	673	271	307	83	1,334
	令和4年度	677	274	307	81	1,339
	令和5年度	685	281	296	78	1,340
	令和6年度	678	270	285	75	1308
	前年度増減数	-7	-11	-11	-3	-32
	前年度比	0.99	0.96	0.96	0.96	0.98
	令和2年度比	1.12	1.49	1.10	1.12	1.18

2. 一日税務署長を78署で実施

(1) 概要

税についての作文で優秀な成績を収めた中学生が、東京国税局管内の税務署で「一日税務署長」を勤めました。この事業は、東京国税局管内納税貯蓄組合が平成28年度から東京国税局長のご賛同を得て始めたもので、令和6年度で9年目を数えます。

令和6年度の一日税務署長は、東京国税局管内の全84税務署中78署で実施されました。実施率は93%でした。昨年度に比べて5ポイントアップしています。こうした素晴らしい成果を上げることが出来たのも、管内各税務署の皆様の大きなご協力の賜物です。

都県別の実施率は、東京都が48署中48署で100%（昨年96%）、神奈川県が18署中14署で78%（昨年67%）、千葉県が14署中12署で86%（昨年93%）、山梨県が4署中4署で100%（昨年75%）となっています。一日税務署長は、一昨年から全国で実施されるようになりました。

(2) 雪谷税務署での一日税務署長

東京都大田区にある雪谷税務署では、安河内睦さん（大田区立大森第七中学校3年・東京国税局管内納税貯蓄組合連合会会長賞を受賞）と吉井愛奈さん（大田区立雪谷中学校3年・東京国税局管内納税貯蓄組合連合会優秀賞を受賞）と加藤真菜美さん（大田区立大森第六中学校3年・東京納税貯蓄組合総連合会会長賞を受賞）の3人が一日税務署長を勤められました。



インタビューに答える一日税務署長の3人



吉井 愛奈さん（署長室にて）

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 副会長（神奈川県連 会長） ■ 浦 上 裕 史



「ハロータックス」に期待する

昨年暮れに全納連が募集した愛称に、「ハロータックス」が採用されました。

この主旨は、納税貯蓄組合の主たる活動が、国民各層に税への理解を深めてもらうことであり、中学生の「税についての作文」や租税教育に力を入れていることから、「税との出会いを創る」ということをイメージしているのです。

税という言葉のイメージは取られるお金のイメージが強く、積極的に納めようと言う雰囲気にはなれないのです。「ハロー」が知らない人同士を結びつける魔法の言葉になればと期待しております。今年からの組合発送物、名刺等にもキャッチコピーが印刷されたシール等をはって大いに普及PRしたいものです。

私達、神奈川県納税貯蓄組合連合会を構成している各署連では、中学生の「税の作文表彰式」の開催の後、各地税務署と協力して、一日税務署長を展開していただいております。この事業が中学生にとっての貴重な思い出づくりの一助になっていることも大事なことです。

身近な私達の活動のご支援を引き続きお願い申し上げます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 副会長（千葉県総連 会長） ■ 高 橋 功



明けましておめでとうございます。

皆様には穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

千葉県納税貯蓄組合総連合会は設立以来今年で62年目を迎えます。日頃より東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の皆様、東京国税局をはじめとする各税務行政機関の皆様には大変お世話になっており深く感謝申し上げます。

さて、令和6年を振り返りますと、海外ではMLBの大谷選手や2024パリオリンピックでの日本人選手達の活躍に日本中が沸く明るいニュースを多く目にしました。反面、国内では1月1日の能登半島地震や豪雨による自然災害により、多くの被災された方々が今でも苦難の日々を過ごされています。被災地の一日も早い復興と被災された方々が平穏な日々を過ごすことが出来るよう願っております。

令和7年は乙巳年。諸説ありますが「乙」は十干の二番目、五行では木の陰のエネルギーを意味し、植物が成長し広がる様を表すことから柔軟性・調和を保ちつつ自らの目標に進んでいく力を表しています。また、「巳」は十二支の六番目、豊穡や金運を司る神様であり神聖な生き物とされています。特に、脱皮を繰り返し成長することから「再生」や「たくましい生命力」、「不老長寿」などを意味しています。

納税貯蓄組合活動は近年の社会情勢の変化に伴い担い手不足、活動資金不足や行政機関の組織改革などと相まって解散する組合も少なくはありません。しかし、諸先輩と積み上げてきた地道な活動である「期限内完納」・中学生の「税についての作文」募集事業などは常に明るい未来への第一歩と信じ、今年は乙巳年にふさわしい皆様と共にたくましく成長する一年にしたいと思っております。皆様のご指導ご鞭撻よろしくお願い申し上げます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 副会長（山梨県総連 名誉会長） ■ 新 津 尚



新年あけましておめでとうございます。

皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えになったこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返って見ますと、本県では、一昨年に続き、記録的な暑い夏でした。

また、最低賃金も継続的に上がってきましたが、物価の上昇も引き続き、生活水準の向上とまではなかなかというように感じています。

昨今では中小企業のDX（デジタル トランスフォーメーション）の必要性がいられていますが、納貯の活動にもその波は押し寄せてきています。

例としては、全納連の専門部会がZoomによるオンライン会議となったり、遅ればせながらも当県の納貯総連合会でも、ようやく電子メールが導入されたことです。また、県連役員間でもグループLINEで情報交換が行われるようになりました。さらに局連においてもホームページを開設するなど、納税貯蓄組合の活動も一層、デジタル化による情報発信、業務の効率化がみこまれているところではあります。

税務当局においても申告や納付の電子化を進めていることから、納税貯蓄組合連合会でも国税、地方税当局と連携し、その普及拡大に引き続き取り組んでいくことが重要なことだと改めて新年にあたり思ったところであります。

結びに、本年も税務当局や関係団体の皆様のご協力を頂きながら、活動を推進していきますのでよろしくお願い申し上げます。

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 相談役（東総連 常任相談役） ■ 原 まり子



謹んで初春のお慶びを申し上げます。東京局連では、昨年から新しい取り組みをはじめましたのでご紹介いたします。

全国的に見ますと地区納連の活動が縮小しております。東京局連においても組織の活性化は、対岸の火事ではすまされない喫緊の課題です。

この課題解決のため各地に出向き精力的に調査活動を行ってまいりました。その際、東京局連から全国へ発信しています一日税務署長についての広報活動も併せて行って参りました。その結果、各地の抱える課題や取り組みなど貴重なご意見を頂くことができましたのでご報告いたします。

令和6年8月に北陸納税貯蓄組合総連合会長・金沢国税局長はじめ関係者の皆さまと意見交換会を行いました。北陸総連は、組合員の高齢化、地震災害などによって地区納連の活動は厳しい状況とのことでした。長内金沢国税局長とは、「中学生の一日税務署長」の展開について「意見の一致」をみることができました。

令和6年12月には、四国納税貯蓄組合連合会長・高松国税局長・丸亀税務署長はじめ関係者の皆さまと意見交換会を行いました。四国納連は、担い手や財源の不足によって、組織運営が深刻な状況であることが分かりました。上竹高松国税局長は、雪谷税務署長当時から「中学生の一日税務署長」に熱心に取り組まれており、今回も私たちの話を熱心に聞いていただきました。丸亀税務署では、既に実施しているなど一定の成果も確認しました。

今回は、北陸総連と金沢国税局、四国納連と高松国税局・丸亀税務署の皆さまと意見交換を行い、地区納連組織の運営が深刻な状況であることが分かると同時に、解決に向けて試行錯誤されているご様子も拝見することが出来ました。今回の調査は、東京局連において有効に活用すると共に、引き続き調査研究して参ります。

令和7年度 東京局連 主要事業日程（予定）

令和7年	4月	会計監査
	6月9日（月）	定期総会
	8月	東京国税局長挨拶
	10月	東京国税局連絡協議会
	10月	中学生の税の作文審査
	11月	東京国税局長表彰式
令和8年	1月	東京局連会報第11号発行
	1月	東京国税局長新春の挨拶

東京国税局管内納税貯蓄組合連合会の運営委員

会 長	近藤 忠夫（東総連会長）	副会長	浦上 裕史（神奈川県連会長）
副会長	高橋 功（千葉県総連会長）	副会長	新津 尚（山梨県総連名誉会長）
相談役	原 まり子	会 計	伊藤 隆正
監 事	間下 成敏	監 事	小貫 訓
監 事	遠藤 敏雄		

東京局連会報（第10号）

発行日	令和7年1月1日
発行者	東京国税局管内納税貯蓄組合連合会 会長 近藤忠夫
本 部	〒101-0054 千代田区神田錦町1-12-1 アーク錦町ビルⅡ
印 刷	(株)プリントン・コミュニケーションズ 〒135-0016 江東区東陽5-29-15 ☎03-3615-1210
表紙絵	「土の温もり」辻 桃子（俳人・俳句結社「童子」主宰）